



せとやこども園



***学校法人 瀬戸谷学園「せとやこども園」の園章について〔デザイン・コンセプト〕**

デザインに込めた意味は、温暖で自然豊かな里山を貫く瀬戸川の清らかな流れの中で、二つの幼稚園の統合が、両地区の調和と共に、園を支え合い、子どもたちの伸びやかで健やかな成長、優しくもたくましい人間性を育むことを願う「せとやこども園」の設立理念と保育・教育目標を象徴する園章としています。

- 中央のS字ラインは、せとやのイニシャルSと瀬戸川の上流から中流への清らかな流れをモチーフに、子どもたちの無限(∞)の可能性を表します。
- 左右の組み合う流体形は、瀬戸谷幼稚園と高根幼稚園の統合を意味すると同時に、幼保連携型・認定こども園としての、保育部門(0~2歳児)と幼児教育部門(3~5歳児)を表しつつ、「誰とでも仲良く遊べる子」、「あきらめず行動できる子」、「優しく思いやりのある子」、そして「自分で考え工夫できる子」の4つの保育教育目標を目印とし、明るい笑顔に育つ子どもをイメージしています。
- カラーリングについては、透明感ある瀬戸川をホワイトにし、瀬戸谷地域の自然豊かで風光明媚な印象とお茶やイチゴ、ミカン、レタスなどの農作物をイメージするよう、左右の流体形をパステルグリーンとパステルレッドで表現。また、子どもたちの多彩な個性を尊重し伸ばす保育と指導の熱意を込めています。

(考案者:学校法人瀬戸谷学園・理事長 平井 登)